

「ふれあい看護体験」を開催しました

5階西病棟看護師長 里 正美

毎年5月12日は「看護の日」です。21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、助け合いの心を私たち一人ひとりが分かち合うことが必要です。こうした心を、だれもが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により「看護の日」が1990年に制定されました。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にもちなみ、5月12日となりました。この日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」です。メインテーマは「看護の心をみんなの心に」で、気軽に看護にふれただけの楽しい行事が、全国各地で行われました。その一環として多くの地域で「ふれあい看護体験」があり、保健医療福祉施設が市民のためにドアを開き、見学や簡単な看護体験、関係者との交流を行うイベントが行われました。

当院においても、5月14日(土)に「ふれあい看護体験」を開催しました。高校生や一般の方など合わせて42名の参加がありました。

開会のあいさつで、山本院長は「楽しいことばかりではないが、やりがいや生き甲斐を感じるのが医療職である」と話し、次に槌田看護部長が病院の機能や済生会の成り立ち、当院の概要、看護体制や看護活動について説明しました。

その後4つのグループに分かれ、ヘリポートや内視鏡センター、救急センター、病棟を見学しました。見学後は、各病棟で足浴、洗髪、車いすの移送などの看護技術の体験を看護師と共にしました。援助を行った患者さんから感謝の言葉をいただいで嬉しそうな様子が印象的でした。

昼食は当院の栄養科が常食(何も制限のない食事)を準備

しました。自分の家族に食べてもらう気持ちで安全でおいしい食事を作るよう心がけていることや、チーム医療の中で医師や看護師と話し合いながら、患者さんの栄養状態の改善や食事指導を行っていることを津崎管理栄養士が説明しました。

午後からは看護体験で関わった各病棟の看護師も参加し、グループで、その日体験したことや疑問に思ったことなどを話し合いました。「看護師の患者さんに対する対応に暖かさを感じた」「大変だがやりがいのある仕事である」などの意見が出ていました。新病院になったこともあり、「病院のきれいさに感動した。将来済生会病院で働きたい」との感想もありました。

最後に岡山済生会看護専門学校の河野副校長から、「看護への道」というテーマで看護専門学校の教育の特徴や教育課程について話がありました。昨年、このふれあい看護体験に参加したうちの4名が、今年岡山済生会看護専門学校に入学したそうです。

「ふれあい看護体験」が看護の仕事の理解に繋がり、看護師を目指すきっかけになればとも思います。興味、関心のある方はぜひご参加ください。



参加者の 皆さんの感想

よくなかった点 (要望)

- ・病院見学の時間を長くしてほしい。
- ・看護援助の時間を長くしてほしい。

よかった点

- ・実際に看護の仕事が体験できた。
- ・看護の仕事を知ることができた。
- ・病院のいろいろな所が見学できた。
- ・ヘリポートが見たかったので、それが叶って嬉しかった。
- ・働いているところを実際に見られて、看護師の仕事のすばらしさが実感できた。

印象に残ったこと

- ・患者さんからお礼を言われたり、話ができて嬉しかった。
- ・仕事の良い部分だけでなく、大変なことも話してくれたのでよかった。
- ・セキュリティーがすごいと思った。
- ・食事に対する工夫を知ることができた。



ふれあい看護体験 スケジュール

8:50～14:00

1. 山本院長あいさつ
2. 槌田看護部長から病院の概要説明
3. 病院見学
4. 病棟で看護体験
5. 昼食
6. 交流会
7. 看護学校の河野副校長から「看護への道」についての話

病院食メニュー

エネルギー 約750kcal
たんぱく質 約25g
塩分 約3g

- ・アラスカご飯、鮭の柚庵焼き、なすの炒め煮、かぼちゃサラダ、れんこん梅サラダ、カーネーションをあしらったお菓子



看護師を募集しています



看護部では、岡山県内外の学校訪問や就職説明会をとおして、看護師の募集を行っています。岡山済生会総合病院と一緒に働きませんか。お一人からでも見学を受け付けておりますので、興味のある方は人事課までぜひご連絡ください。

TEL:086-252-2780(人事課直通) 平日8:30～17:00の間にお電話ください。